

6/23（火）第1回児童福祉専門分科会でいただいたご意見及び回答・反映状況

委員名	該当資料番号・ページ数	意見内容	回答・反映状況
小林委員	資料1-1 第5次静岡市 総合計画	日本一とか、まんなかとか、かなり大きな風呂敷になっていますが、 現行のプランを経て、静岡市のここが日本一になったと授業で伝えら れる施策があればご教授ください。 また、数値で示すことのできる日本一とはどういう状態を指します か？	現行のプランの期間内において、『静岡市のここが日本一になった』と明確にお示しできる 施策は、現時点ではありません。 なお、平成27年4月に私立幼稚園・保育園をすべて幼保連携型認定こども園へ移行した取組 があります。これは全国的にも先進的な取組でしたが、現行のプランが始まる前の取組で す。 本計画で目指す『日本一』については、こども・子育て施策分野は多岐にわたるため、それ ぞれの分野にあった指標を設定し、比較対象となる都市の中で最も高い水準にある状態を想 定しています。 例えば、制度に関する取組は政令指定都市と比較する、個別の施策分野では中核市と比較す るなど、指標の性質に応じて適切な比較対象を設定していきたいと考えています。
小林委員	資料1-1 基本方針	想定されているWS同様、会議のスタイルはずっとこのままですか？ 例えば、幾つかのグループに分けるとか、行政側と私たちが近くなる 方法を考えないと、意見の反映はおろか、意見すら引き出せないよう に感じました。	今後の会議運営については、より多くの御意見をいただき、意見交換がしやすい場となるよ う工夫してまいります。 ご指摘のとおり、全体会形式だけでは発言しにくい場合もあるため、進行方法等を検討して まいります。 一方で、分科会という会議の性質上、時間的制約もございますので、わかりやすい資料の作 成や説明に努めていきたいと考えています。
堀委員	資料1-1 3（1）（2）	「社会全体でこども施策を推進していく。」と有りますが、施策が一 般にも見える化をと考えます。 一部のみでは無く、多くの方々に浸透する方法論は有るのか。	計画については、関心のある方だけでなく、より多くの方に内容を知っていただくことが重 要であると考えています。 今回は、計画冊子の概要版に加え、小学校高学年程度からでも計画の大枠を理解できるよう な『やさしい版』を作成する予定です。オンラインでの周知に加え、こどもたちが集まる場 所などにも配架し、広くご覧いただける体制を整えていきます。
堀委員	資料1-3 1, 2, 3	ライフステージに関してすべての項に関して、細かく、良く網羅され ていると思います。 最終的には教育委員会、その他の外部組織団体とつながりが必須では と考えます。	計画策定に当たっては、庁内のこども施策の検討組織である『次世代育成支援対策推進会 議』に付議し、教育委員会を含む関係部局と調整を行ってまいります。 また、外部組織・団体との連携については、『子どもの貧困対策推進会議』や児童福祉専門 分科会、各子育て支援団体からの意見聴取を踏まえて、計画策定を行ってまいります。
宮城島委員	資料1-3 ライフステージを通じた 施策 多様な遊び・体験や活躍で きる機会づくり	（すみません、感想です） 市民文化会館の子供の遊び場を利用していますが、とても満足度が高 いです。まず、沢山の部屋があるので子供が飽きないです。 あと、7歳、5歳、知的障害を伴う自閉スペクトラム症5歳と全員が 楽しく遊べて、最高です！ 涼しくて無料で助かっています。	遊び場をご利用いただきありがとうございます。 「静岡市民文化会館こどもの遊び場」については、建物の改修工事の開始に伴い、6月28日 の営業が最終となりました。 今後は、旧蒲原・長田保健福祉センターを活用した遊び場を2028年にオープン予定です。 引き続き、こどもが天候に左右されずに遊べる環境を提供してまいります。 （※「静岡市民文化会館こどもの遊び場」は文化政策課が所管する取組です。）

6/23（火）第1回児童福祉専門分科会でいただいたご意見及び回答・反映状況

委員名	該当資料番号・ページ数	意見内容	回答・反映状況
宮城島委員	資料1-3 ライフステージ別の施策 学童期・思春期	育休期間中、学童に通うことができるようにしていただきたいです。私の事情ですが、現在小1（7）、年中（5）、年中（5）と3人の子供がおり、7月に4人目を出産予定です。5歳の双子は現在保育園に通っております。産休中までは現在の標準時間（7:00～18:00）、育休中は短時間（9:00～16:00）となります、小1の子については、現在、学校のとなりにある学童に通っているのですが、育休中は辞めなければいけないことになっています。その事実を知った時、初めて”小1の壁”を感じました。育休中働いていないということで、市の方には民間の学童やファミリーサポートのアドバイスをいただきました。私としては、子供が安心して今楽しく通っている学童にそのまま通わせてあげられないことを、とても残念に、悲しく思いました。働く親だけでなく、育休中子育てをしている親にも、今のスタイルを続けられるような”切れ目のない支援”を求めます！	放課後児童クラブの利用要件等については、国において一定の考え方が示されており、各自治体が制度の趣旨を踏まえつつ、実情に応じた運用を行っています。静岡市におきましては、定員に限りがある中で、利用を希望する児童を公平に受け入れる必要があることから、現在は保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を優先して受け入れる運用としています。一方で、ご指摘のとおり、出産や育児による生活環境の変化の中で、子どもが慣れ親しんだ居場所を継続して利用できることは重要な視点であると認識しております。今後は、待機児童の状況や定員とのバランス、公平性の確保などを含め、制度のあり方について検討を進めていきます。いただいたご意見は、今後の制度検討の参考とさせていただきます。
小林委員	資料1-5 こども・若者WS	会議中からずっと考えていたのですが、対象年齢のレンジが広すぎて、正直なところ、当日のWSのイメージが全く沸いてきませんでした。ただのガス抜きになってしまわないか、とても心配です。どこかで実施した事例動画などがあれば教えてください。私は2005年生まれの学生（21歳）の授業を担当しているのですが、若者は若者なりの困りごとを抱えています。これから結婚をし、子育てをしようとしている若者の意見は聞かなくてもよいのでしょうか。	ワークショップについては、対象年齢を小学校5年生～中学3年生に設定し、参加者が意見を出しやすい進行方法やグループ分けを検討してまいります。 また、これ以外の年代のこども・若者の声については、「5才児（年長児）インタビュー」、「子育て支援センターなどへの意見聴取ボードの設置」、「大学生との意見交換」などの手法を現在検討しており、幅広い年代の意見を拾い上げたいと考えております。いただいたご意見の通り、若者世代にもそれぞれの困りごとや将来への不安があることから、大学生等への意見聴取などで、これから結婚や子育てを考える若い世代の意見も把握できるよう努めます。 実施に当たっては、単なる意見聴取にとどまらず、いただいた意見を計画検討に活かせるよう、内容の整理や反映方法についても工夫してまいります。
堀委員	資料2-1 2（1）	こども誰でも通園制度について 現場サイドでは使いにくい等々のお話が出ましたが今後の再考、変更等はありますか。	こども誰でも通園制度は国の法律に基づき実施していますので、制度の基本的な考え方等については変更することはできませんが、制度を運用しながら利用者・実施施設のご意見や要望等を集め、国へ要望していくとともに、市独自の国基準に上乗せした支援策等も検討してまいります。